

遺愛体育祭の三大精神について

10月10～11日（金～土）は遺愛高校の体育祭でした。遺愛では、高2が沖縄修学旅行の最中に高1と高3で体育祭を実施します。短い期間ですが朝、放課後に一生懸命練習をし、本番はとても盛り上がります。1日目は球技が中心で、アリーナでバスケットボール、バレーボール、ソフトバレーボール、ドッジボール、玉入れなどの球技を行いました。2日目はグラウンドでパン食い、借り物、3人4脚リレー、フープ15秒チャレンジ、大縄跳び、綱引き、クラスリレーを行い、皆さん熱く熱く競技しました。

ところで、遺愛には体育祭の際に心がける三大精神があります。

第1は、遺愛第4代校長のデカルソン先生の口癖「Do your best! Your very best!」です。クラスのために「自分の最善をつくす! 力の限りを尽くそう!」という理念です。生徒の皆さん、本当に一生懸命頑張っていました。

第2は、「Fair」です。「公正」「公平」という意味ですが、審判を行う部活の皆さんがぜひそのような気持ちを強く持って、誠実に審判にあたりると共に、競技する者は審判のジャッジに素直に従うという精神です。皆さん一人一人が心に留めてくれるおかげか、ジャッジをめぐる大きなトラブルもなく、楽しく競技していました。

第3は、「No side」です。これは閉会式の時にお話ししています。ラグビーでは試合中、非常に激しくぶつかりあい、時には非常にエキサイトすることもあります。試合が終われば敵味方関係なくお互いの健闘を讃えあう「No side」精神を大切にします。遺愛でも大事にしており、閉会式後、高1全員で円陣を組んでお互いの健闘を讃えあっていましたが、その精神の現れでした。天候にも恵まれ、素晴らしい秋の一時となりました。



2014年10月11日（土）